

毎週金曜日

夜七時より

市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

みんなでつくろう

みんなの会館

三人よれば何とかの知恵

夜間学校ニュース

秋深し

我らはなにを

する人ぞ



あいかけられず青春を余儀なくされている仲間がいる。それらの仲間のことは忘れられてはならないことであるが、それにしても釜ヶ崎の一年の中で、今がもっともいい季節ではないだろうか。

体を動かかしても、夏ほどには暑くなく、一フクをこたいても冬のように寒くはない。

仕事にしろ、さほど心配しななければならぬ状況ではない。

病气や手帳の心配のない仲間、釜ヶ崎の多数を占める仲間にとっては、本当にいい時期ではないだろうか。

夜間学校も時には格闘場になつて、馬鹿やる秋空をただよびてみたいものだと思ひ……。だが、しかし、本当にこれだけののか

1987年10月6日
西成区萩之茶屋2の8の9 旅路の里気付
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人の
指紋押なつ拒否断固支持！
定住外国人に市民権を

本籍・住所不詳、氏名自林三村某、四五歳位の男、身長166cm、体格普通、長髪、色黒、発見時全裸、服装灰色コート・国防色防寒

ジャンパー・灰色アザー・ズボン・黒色革靴、遺留金品現金7,680円

右の者は、昭和60年3月5日午前11時頃、大阪市西成区萩之茶屋

1-6-13入船温泉にて発見されたもので、同日・同

仲間の死

所において急性心不全のため死亡したものと思われる。

右は身柄引取人不明のため、検死のうえ、津守斎場で火葬にふた

ので、心当りの方は当区役所まで申し出てください。

昭和60年4月19日
大阪市 西成区長

「官報」に掲載されたもの、釜ヶ崎夜間学校より転載

死を恐れず 見据えるものは

よりよく生かすものは

人間と動物と創造力

「働いていても自分

このところ、手帳にまつわる問題をずっと取りあげています。

アクセクするだけが人間ではないで、と突きはなした意見が出る

のも、官報に載っていた浜田さん(末広で二年前に死んだ人)の

事が気になるからではないでしょうか。話はやはり手帳からです。

「職安の対応も人によって、いぶちがうらしいな。ヤミ印

紙のこと、素直に認めて、ニ

万円払ったら手帳を返すと

言われた人もあるし

「三の万円もってこい」と言

われた人もあるし

「知ってる人でもう六人もあ

げられた。倒産した業者のハ

ンがあるんで、アブしをもら

いに行くのは絶対でけへん、

それに、金融屋のこともあつ

ていつあげられるか心配で逃

げまわってる人もあるな」

「赤信書みんなを渡ればこわく

ないや」

分で自分を食わせるだけや、ふ

つうやったら女房、子供を養う

ということもあさけどなし

「現場に仲間がおって、仕事自

体の意味に納得できるものがあ

つたらええんやけど」

「食べるだけ、印紙の数だけに

アクセクするのは人間だけにな

いど、動物と同じや」

「浜田さんは五ハオで脳出血や

かなり無視してたんやで、ワシ

も同じ年頃やけど、一四日のう

ち十日は軽作業に、四日は追

まわしの仕事に行くようにして

る。五のを過ぎて四時半頃から

若い人と同じようにしてる人が

おるけど、きつい。結局浜田

さんと同じようになるよ」

うても自

スクラップやなし

「衣食住だけでは動物と同じ

死ぬのを待っただけや、人間に

は創造力があるんやから、こ

れを伸ばすようにせんといか

ん」

「しかしなかなか創造力まで

たどりつけへんが」

「過疎地に入って農業を始め

るというのもある」

「団結が必要やし、先立つも

んはやっぱリカネや」

「過疎と言えは、四国なんか

ヘアイリピンの女の人が嫁入

りしてくるけど、アイリピン

ではえらい怒っとるらしい」

「まあ金も同じようじゃ嫁キキ

ンがあるけどなし」

「創造力もこの町をどうする

か、どう生きるかが問題やし